



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社ベルテクスコーポレーション
コード番号 5290 URL <https://www.vertex-grp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 明秀
問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 部長 (氏名) 小向 久夫
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3556-2801

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	26,466	7.0	3,996	1.4	4,105	0.1	2,556	3.4
2023年3月期第3四半期	28,450	3.6	3,942	12.8	4,099	13.1	2,645	15.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,656百万円 (1.5%) 2023年3月期第3四半期 2,696百万円 (12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	98.31	96.80
2023年3月期第3四半期	99.35	98.03

(注) 2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	50,080	32,455	64.3
2023年3月期	49,843	31,584	62.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,177百万円 2023年3月期 31,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				30.00	30.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	4.8	5,500	1.1	5,720	2.0	3,650	2.5	140.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,553,350 株	2023年3月期	30,553,350 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,906,270 株	2023年3月期	4,226,805 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	25,999,697 株	2023年3月期3Q	26,626,648 株

(注)2022年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進んだことにより緩やかな回復の動きがみられたものの、原材料やエネルギー価格の高止まり、金融資本市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましては、異常気象等を原因とした大規模な自然災害に備えるため、国土強靱化に取り組む必要性が叫ばれており、公共投資は底堅く推移しているものの、将来の国内市場の縮小リスクへの対応が課題となっております。このような環境の中、今年度を最終年度とする第2次中期経営計画において、「主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進」、「成長事業の育成と新たな収益機会の獲得」、「持続的成長を可能とするための経営基盤の整備」に取り組み、更なる企業価値向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26,466百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は3,996百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益は4,105百万円（前年同期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,556百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

(コンクリート事業)

慢性的な人手不足から業務プロセスの改善による生産性の向上は建設業界の主要なテーマであり、建設現場における省人化・安全性の向上・工期短縮・働き方改革への寄与が期待されるプレキャスト化への促進と要望は年々高まっています。また、当社グループが優位性を発揮する浸水対策は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の政府の施策の中においても緊急の課題として位置付けられております。

前年同期と比べ全体として出荷量が減少したことから、売上高は前年同期比6.9%減の18,615百万円となったものの、より高付加価値製品の販売が進んだことからセグメント利益は前年同期比1.3%増の3,594百万円となりました。

(パイル事業)

建築需要が徐々に回復の兆しを見せる中、販売地域と案件の絞り込みによる効率化と強みに特化した受注活動を進めてきましたが、前年同期と比べ大型案件の減少などにより、売上高は前年同期比33.5%減の2,008百万円、セグメント利益は前年同期比85.1%減の39百万円となりました。

(防災事業)

激甚化する風水害への対策として「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が政府により実施されております。この追い風を受ける中、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁が進んだものの、工事受注量が減少したことにより、売上高は前年同期比7.0%減の3,319百万円、セグメント利益は前年同期比17.9%増の1,050百万円となりました。

(その他)

2022年10月4日付で完全子会社化したプロフレックス株式会社の買収効果により、売上高は前年同期比34.9%増の2,523百万円、セグメント利益は前年同期比77.2%増の512百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は50,080百万円(前連結会計年度末と比べ236百万円増)となりました。

流動資産は30,236百万円(前連結会計年度末と比べ258百万円増)となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産7,691百万円（前連結会計年度末と比べ1,283百万円減）に対し現金及び預金12,336百万円(前連結会計年度末と比べ1,318百万円増)等によるものであります。

固定資産は19,844百万円(前連結会計年度末と比べ22百万円減)となりました。これは主に投資有価証券1,272百万円(前連結会計年度末と比べ132百万円増)に對しのれん3,395百万円(前連結会計年度末と比べ207百万円減)等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の総負債は17,624百万円(前連結会計年度末と比べ634百万円減)となりました。

流動負債は、12,738百万円(前連結会計年度末と比べ163百万円減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金2,323百万円(前連結会計年度末と比べ469百万円減)等によるものであります。

固定負債は4,886百万円(前連結会計年度末と比べ471百万円減)となりました。これは主に長期借入金1,484百万円(前連結会計年度末と比べ228百万円減)及び退職給付に係る負債1,007百万円（前連結会計年度末と比べ211百万円減）等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は32,455百万円(前連結会計年度末と比べ871百万円増)となりました。これは主に自己株式3,962百万円(前連結会計年度末と比べ1,015百万円減)に対し、利益剰余金29,938百万円（前連結会計年

度末と比べ1,754百万円増)等によるものです。この結果、自己資本比率は64.3% (前期末比1.4%増) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び足元の受注状況を鑑み、2023年5月11日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。修正内容につきましては、本日(2024年2月8日) 公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,017,795	12,336,190
受取手形、売掛金及び契約資産	8,975,402	7,691,872
電子記録債権	3,745,533	4,008,234
未成工事支出金	186,056	216,386
商品及び製品	4,194,105	4,407,269
仕掛品	149,399	234,835
原材料及び貯蔵品	779,880	1,032,712
その他	949,219	328,457
貸倒引当金	△20,194	△19,878
流動資産合計	29,977,199	30,236,080
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,207,403	8,254,950
その他(純額)	4,389,173	4,494,719
有形固定資産合計	12,596,577	12,749,670
無形固定資産		
のれん	3,603,383	3,395,496
その他	502,490	492,563
無形固定資産合計	4,105,874	3,888,059
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,333,323	3,376,737
貸倒引当金	△169,608	△170,378
投資その他の資産合計	3,163,715	3,206,358
固定資産合計	19,866,167	19,844,088
資産合計	49,843,366	50,080,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,793,591	2,323,612
電子記録債務	3,221,729	4,165,373
短期借入金	3,150,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	438,804	282,192
未払法人税等	874,123	606,679
賞与引当金	466,831	579,678
その他	1,956,418	1,670,644
流動負債合計	12,901,500	12,738,181
固定負債		
長期借入金	1,712,723	1,484,441
株式給付引当金	167,809	224,038
退職給付に係る負債	1,219,337	1,007,679
工場閉鎖損失引当金	90,050	90,050
資産除去債務	382,584	382,682
その他	1,784,858	1,697,353
固定負債合計	5,357,364	4,886,246
負債合計	18,258,864	17,624,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	1,710,170	1,713,569
利益剰余金	28,183,879	29,938,170
自己株式	△2,947,117	△3,962,626
株主資本合計	29,946,932	30,689,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,125	268,359
土地再評価差額金	1,219,799	1,219,799
その他の包括利益累計額合計	1,387,924	1,488,158
新株予約権	249,645	278,469
純資産合計	31,584,502	32,455,741
負債純資産合計	49,843,366	50,080,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	28,450,700	26,466,817
売上原価	19,850,951	17,515,970
売上総利益	8,599,748	8,950,847
販売費及び一般管理費	4,657,223	4,954,438
営業利益	3,942,525	3,996,408
営業外収益		
受取利息	281	181
受取配当金	34,498	33,247
貸倒引当金戻入額	1,539	12,209
受取補償金	43,094	-
スクラップ売却益	25,621	63,936
その他	127,357	120,963
営業外収益合計	232,393	230,537
営業外費用		
支払利息	20,542	21,787
持分法による投資損失	14,664	2,603
損害賠償費用	-	48,453
解約精算金	15,715	-
その他	24,180	48,457
営業外費用合計	75,101	121,301
経常利益	4,099,816	4,105,645
特別利益		
固定資産売却益	8,049	25,349
投資有価証券売却益	325	243
事業譲渡益	95,486	-
退職給付制度一部終了益	56,253	-
特別利益合計	160,115	25,592
特別損失		
固定資産売却損	176	-
固定資産除却損	6,290	14,369
投資有価証券評価損	81,148	-
減損損失	-	52,439
特別損失合計	87,615	66,808
税金等調整前四半期純利益	4,172,316	4,064,429
法人税等	1,526,979	1,508,282
四半期純利益	2,645,337	2,556,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,645,337	2,556,147

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,645,337	2,556,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,228	100,234
その他の包括利益合計	51,228	100,234
四半期包括利益	2,696,566	2,656,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,696,566	2,656,381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。